

編集後記

本号刊行に向けた作業は、第1号の編集委員でもあった伏見宗弘弁護士が開始し、これを一橋大学法科大学院のロー・レビュー担当教員の森村進教授および角田美穂子教授が支援ないし引き継ぎ、最後は、本学の酒井智之特任助教と私がお手伝いをさせていただく形になりました。

業務の承継が必ずしも円滑に行われなかったこともあり、予定した時期に刊行することができませんでした。とりわけ、早々に力作をお寄せくださった藤田昭平弁護士、三柴萌実弁護士（いずれも一橋大学法科大学院修了生）には、刊行まで長くお待たせすることになり、お詫びを申し上げます。

難産だった第2号ではありますが、各論考の内容はそれぞれにたいへん興味深いもので、私自身は、ロー・レビューという場を設けることの意義を改めて感じております。

今後は、順調に刊行を続けることができるような体制が構築されることを願います。

一橋大学法科大学院の在学生、修了生そして教員におかれましては、引き続き、一橋ロー・レビューへのご支援を賜りますようお願いいたします。

2017年9月

小粥 太郎